

校報ねどる

岩出市立根来小学校
学校だより No.3
令和2年5月11日
文責：柏木



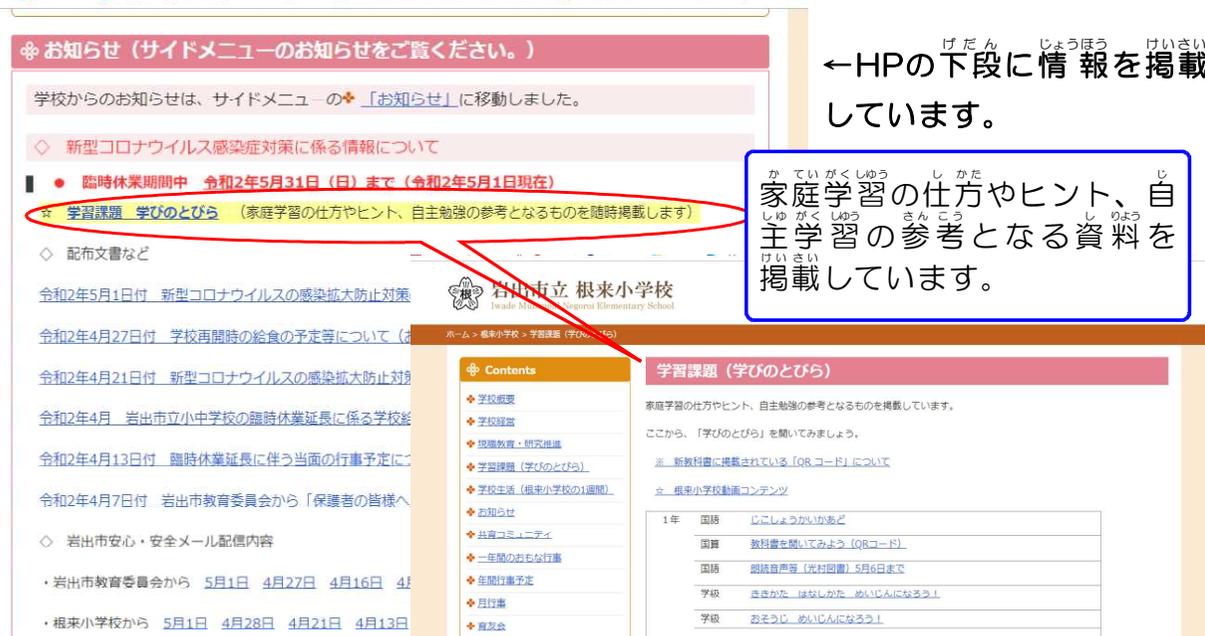
緊急事態宣言、5月まで延長

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、緊急事態宣言の対象地域を全都道府県としたまま5月31日まで延長されることが、5月4日に正式決定されました。

それに先立つ5月1日には、和歌山県教育委員会からの要請を受け、岩出市教育委員会においても、5月31日まで臨時休業が延長されることとなりました。

4月中は、ポストインという形で、課題等の配布を行ってきましたが、今後は、時差別分散登校日を設定するなど、子どもたちの様子や課題の進捗等も確認を進めていきます。また、ホームページも積極的に活用して、情報を発信します。

学校教育目標の「結びあい」を常に意識して、取り組んでまいります。



←HPの下段に情報を掲載しています。

家庭学習の仕方やヒント、自主学習の参考となる資料を掲載しています。

今日は、時差別分散登校日でした。我々教職員もとても楽しみにしています。今後の学校での対応の仕方や改善できるところはなど、話し合いを進めてまいります。

家に帰ってから子どもさんの様子や変化等、気にかかるところ（もちろん良かったところ等もあれば、よりうれしいです。）がありましたら、担任まで相談や連絡をお願いします。

また明日、スクールカウンセラー（右ページ参照）が来る日となっています。

「チームとしての学校」の取り組み

私たち教員は、学習指導、生徒指導等、幅広い業務を担い、日々子どもたちの状況を総合的に把握しています。子ども達の変容や身につけた資質・能力を自らの指導を振り返って指導の工夫改善に努めています。

予測困難なこれからの時代、子ども達を取り巻く複雑化・多様化した課題を解決していくためには、従来の教員だけでなく、多様な専門性を持つ職員が一つのチームとして、それぞれの専門性を生かして、連携、協働する「チームとしての学校」組織が求められてきました。

今までも、図書の特任員である「学校図書館司書」などが配置されてきました。本年度から、相談の特任員である「スクールカウンセラー」や学校に来づら子ども達を支援する「不登校支援員」、教員の事務作業等をサポートするスクールサポートスタッフ(SSS)が配置されました。

それぞれの専門性に基づくチーム体制を構築することで、教員が授業等の専門性を高めることができる体制や、専門能力スタッフ等が自らの専門性を発揮できるような連携、分担の体制を整備することで、子ども達を多くの人に関わりサポートすることができるようになります。

【スクールカウンセラー】

スクールカウンセラーは、みなさんが、なやんでいることや困っていることなど（友だちのこと、学校のこと、勉強のこと、おうちのこと、自分のことなど）を相談できる先生です。

子どもだけでなく、保護者の人も話を聞いてほしい場合は、カウンセリングしていただけます。例えば、子どもへの対応、不登校/登校渋り、いじめ、発達について、学習面など、こんなことで相談してもいいか迷われる方がいましたら、それも含めてご相談していただけたらと思います。

カウンセリングは事前の予約が必要となります。

- 相談日…第2・4火曜日（年18日） 12時30分～17時30分

5月は、12日と26日に来校されます。

- 場所…共育コミュニティルーム
- 方法…事前に担任の先生か教頭先生まで連絡をして予約を取って下さい。